



🌟 共につくろう、誰もが住みやすい山形！



右でも 左でもなく 皆で上↑に 行ける社会を！

山形県は幸福度ランキング7位(2022年)*を誇りますが、「教育」分野強化でさらにUP!「教育県山形」復活に向け取り組みます!

※(一財)日本総合研究所

今こそ

梅津ようせい 5つの政策

1 人づくりこそ地域づくり (県都山形市から人づくりの大きなうねりを!)

- ◆ 雪国山形! ウィンタースポーツを通じ郷土愛を醸成! (スポーツ関連予算の別枠化をめざす)
- ◆ 「蔵王」を冠せる地域に屋内スケート場等のスポーツ施設を!
- ◆ 道の駅「山形蔵王」周辺地域の活性化
- ◆ 子育て支援の所得制限(私学支援910万円の壁等)の撤廃と支援拡充
- ◆ 山大医学部附属病院(重粒子線治療が本格化)周辺地域の更なる環境整備(融雪道路化等)
- ◆ 教育従事者のさらなる処遇・待遇の改善を



2 災害に強いまちづくり (防災)

- ◆ 土砂、河川災害への備えを万全に(飯田、東沢、成沢、片谷地、中野地区等)
- ◆ 自主防災組織ごとの地区防災計画及び要配慮者の個別避難計画策定の推進と防災教育の実施
- ◆ 全国のモデルとなる避難所づくり(ペット、トイレ、女性への配慮)

3 「食料生産地」の確立と 林業再生・活性化 (農林業)

- ◆ 水田活用交付金見直し(いわゆる水張り問題)の見直し
- ◆ 小麦、そば、大豆などの穀物へ技術研究投資
- ◆ 果樹王国山形の確立と情報発信の強化
- ◆ 森林環境譲与税を活かした林地再生の加速化(間伐から植栽へ)
- ◆ エコ住宅事業や耐震改修事業等住宅政策のさらなる充実



4 新型コロナ後の社会へ (産業基盤強化と観光振興)

- ◆ デジタル化(DX)を全面バックアップ(ものづくり技術等の継承促進や効率化・利益最大化)
- ◆ 中小企業のインボイス制導入支援(将来的廃止をめざす!)
- ◆ インバウンド復活による賑わい創出と、海外交流、留学等事業の活性化
- ◆ 山形の成り立ちを世界に示せる博物館の建設
- ◆ 所得の上がる諸政策の構築



5 多様性ある社会は強く、豊かな社会

- ◆ 子ども、高齢者、障がい者、子ども&大人の引きこもり、LGBTQ等全ての皆様が生きやすい社会の実現へ努力
- ◆ 食改善運動等を通じた医療に頼らない健康政策の推進
- ◆ HPVワクチン接種の促進と副反応、後遺症対策の徹底
- ◆ 情報公開の推進による政策提案の活発化



総務常任委員会での活動【質疑と現地調査】

【6月定例会質疑から】

【問】交通系ICカード「チェリカ」は県内ほぼ全ての路線バスで利用可能だが、一方でJR等の鉄道で使えるのが山形駅と山寺駅のみ。利用可能駅の拡大を推進すべき。

【答】県としてもJR東日本に利用可能な駅の拡大を働きかけていく。（質疑後、JR東日本は2024年春以降の奥羽本線かみのやま温泉駅から村山駅まで、左沢線寒河江駅までの利用拡大を発表。）



【5月と7月の2回にわたる現地調査から】

●コワーキングスペース等

長井、山形、酒田で、各地で設立されているコワーキングスペースやスタートアップステーション（起業支援）等を調査。老舗の多い山形県は全国で新規起業が少ない県だが、新起業やシェアオフィス等で地域経済を活性化することへの支援は重要と再認識。



●私立高校のスクールバス整備

私学教育は地域に不可欠な存在。米沢中央高、羽黒高のスクールバスの取組は、登校手段が困難な地方では、学びの確保という点から重要。広い地域にスクールバスが展開できるのは私学の魅力の一つだが、JR等公共交通の利用減少という側面も。



8月3日大雨災害への対応



県政クラブで県庁から災害状況を聴取



飯豊町小白川の大巻橋崩落現場を調査



長井市寺泉の道路崩落現場を調査

活動記録写真



広報広聴委員会

副委員長に就任。県議会報を作成し県民の皆様へ議会活動を紹介しています。



文教公安委員会県内調査

山形県警にて科学捜査や交通規制の現状調査に参加しました。



商工労働委員会県内調査

新型コロナで疲弊する地元蔵王温泉の皆様から現状と対応策を聴取しました。



連合山形街頭演説

労働運動を引っ張る連合山形の街頭活動に参加し、演説しました。



国民民主党県連大会

県連政調会長に就任。政策要望活動をしっかり行ってまいります。



野球大会の開催

新型コロナの雰囲気をぶっ飛ばす草野球大会会長としてご挨拶をしました。

